

2020 地歌舞伎

勢揃い公演 五月

清流の国ぎふ

垂井曳軸保存会（垂井町）

垂井町では、毎年五月二日から四日にかけて垂井曳軸まつりが行われ、鳳凰山、攀鱗閣、紫雲閣の三輦の曳軸（県重要有形民俗文化財）を舞台に、子ども歌舞伎（町指定無形文化財）が披露されます。

この子ども歌舞伎は歴史が古く、江戸時代の安永年間（一七七二～一七八二）に始まったと言われており、町内の男子小学生から選ばれた芸児（けいじ）によって演じられます。

芸児たちは、学校を約二週間休んで稽古に打ち込み、祭の三日間で十数回も舞台に立ちます。大人にも劣らない堂々さと可憐さ、かつ素人離れした演技と台詞は毎年多くの観衆を惹きつけています。

当保存会は、この伝統ある文化財を保護し、郷土文化の発展に寄与することを目的として、昭和三十六年に発足しました。発足以降、曳軸の様々な維持修繕、全国文化芸術協会東京大会や全国子供歌舞伎フェスティバルへの出演など、精力的に活動を行ってきました。今後も、活動を通じて、垂井曳軸を守り後世へ継承してまいります。



いび祭り子ども歌舞伎保存会（揖斐川町）

揖斐川町は「自然健康のまちいびがわ」を目指しており、文化活動が盛んな地です。その中でも三百余年の伝統を誇る「揖斐祭り」三輪神社例大祭は、豪華絢爛な五輦の芸軸（県有形民俗文化財）と多くの神輿が繰り出され、毎年五月四日・五日に華やかに行われます。この五輦の芸軸は、三輪地区にある五つの町（上町、中町、下町、上新町、下新町）がそれぞれ保有しているもので、毎年交代でその芸軸上で子ども歌舞伎が奉納（上演）されます。さらに五月三日には、祭りに先がけて「子ども歌舞伎特別披露」が行われています。

当保存会は、平成十九年度全国子供歌舞伎フェスティバル出演を契機として、伝統をつないでいくことを目標に活動を行っています。

近年はいび祭り子ども歌舞伎塾を立ち上げ、義太夫の地元後継者育成に取り組むとともに、地域行事やイベントに出演するなど伝統芸能の保存・継承に励んでいます。平成三十年度には、これまでの活動が評価され、「岐阜県芸術文化奨励」を受賞しました。



新型コロナウイルス感染予防対策について

安心して参加いただくために、皆様のご協力をお願いします。

- ・発熱や風邪症状のある方は、参加をお控えください
- ・マスク着用の厳守（マスク非着用の方はご入場できません）
- ・手指消毒及び検温の実施（37.5℃以上の方はご入場できません）
- ・ソーシャルディスタンスの確保
- ・出演者への声援や歌唱、入り待ち、出待ちの禁止
- ・公演中のおひねり、大向こうの禁止

※「岐阜県感染警戒QRシステム」の登録をお願いします。
ご登録をいただきますと、感染者が発生した場合、同じ日に来訪された方にメールでお知らせいたします。

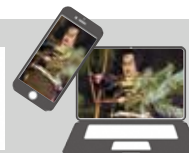
スタンプラリー再開



開催期間中、1公演ご鑑賞ごとにスタンプが1つたまります。スタンプ数に応じて素敵なグッズをプレゼント！
※木札を忘れずにお持ちください。

ぎふ清流文化プラザ YouTubeチャンネル

本公演の様子を収録し、後日配信します。



清流の国ぎふ

2020 地歌舞伎

勢揃い公演 五月

2021年5月16日（日）

◆開演 14時00分（開場13時00分）

◆会場 ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール

◆上演外題・出演

14時00分（30分）

ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟

たるいきやうげんづくじへ垂井狂言づくじ

垂井曳軸保存会（垂井町）

14時50分（60分）

かがみやま（あまの）のしきえ

鏡山旧錦絵

いび祭子ども歌舞伎保存会（揖斐川町）

◆終演 15時50分（予定） 演目上演順は変更となる場合があります。



イヤホン同時解説

演目の見どころやあらすじについて、分かりやすく解説します。



南山大学名誉教授 安田 文吉氏

beyond 2020

日本橋 JAPAN CULTURAL EXPO

文楽 文楽

主催／岐阜県・（公財）岐阜県教育文化財団
協力／岐阜県地歌舞伎保存振興協議会
令和3年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
ねんりんピック岐阜2021応援事業



地歌舞伎とは

地歌舞伎とは、地元の素人役者たちによって演じられる、地域に根付いた歌舞伎です。江戸や上方で盛んであった歌舞伎は、地方を巡るプロの旅役者によって全国各地に広がり、それに憧れた地方の人々が神社の祭礼で演じたり、芝居小屋を造ったりと、自ら楽しむようになりました。現在、岐阜県には30を超える地歌舞伎保存団体が存在し、9軒の芝居小屋が各地に現存しています。岐阜県は全国有数の地歌舞伎が盛んな地であり、芝居小屋をはじめ、毎年各地で定期公演が開催されています。江戸時代から伝わる演目や振付が大切に受け継がれ、親しまれている岐阜県の地歌舞伎をご堪能ください。

ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟たるいきやうげんづへじ(垂井狂言づへじ)

垂井曳軸保存会(垂井町)

「寿式三番叟」は江戸時代元禄期に、能の「翁」を元に義太夫曲に改曲されました。文楽などの人形浄瑠璃、また歌舞伎舞踊としても特別の祝儀物として大切に演じられてきました。

天下泰平・国土安穩・五穀豊穡を願い、舞台狭しと踊ります。最後の鈴の段になると、本日ご来場の皆様に福あれと、幸せの種蒔をし、本日の舞台を舞い清めます。

◆配役

振付指導	川村 和彦	三味線	豊澤 賀祝
太夫	竹本 賀桐	三味線	中川 太吾 (高校 年生)
三番叟	安村 太志 (小学 六年生)	和田 展幸	お囃子
			垂井祭囃子保存会

鏡山旧錦絵

いび祭子ども歌舞伎保存会(揖斐川町)

大名家の大奥を預かる局 岩藤は、御家騒動の陰の黒幕。彼女にとって、大姫の信頼厚い中老 尾上は目障りな存在です。ある花見の宴の折、岩藤は、剣術の心得のない尾上に無理やり立会いを迫ります。そこへ尾上の召使 お初が主人の代役を買って出て、岩藤を打ち負かしてしまいます。

折から幕府の使者として、剣澤弾正が、「弥陀の尊像」とお墨付きのある箱を受け取りに來ます。それは大姫から尾上に託されていたものでしたが、箱を開けると中には草履があるばかり。岩藤の策略により、尊像は盗み出されていたのです。尾上に濡れ衣を着せ、草履で打ち据える岩藤。屈辱を受けた尾上は、自室で密かに自害します。ちょうどその頃、お初と尾上の忠臣 庵澤求女は、岩藤と弾正とが企てた悪事の全てを知ることとなります。

お初は岩藤の悪事を晴らすべく、奥庭で待ち伏せします。そのお初を見た岩藤は「頭痛が起きた」と仮病を使います。そこで、お初が「特効薬」と言いつて岩藤の頭に乗せたのは、因縁の草履でした。岩藤とお初は争い、ついに岩藤が討ちとられ、事件は無事落着きます。そして、お初は二代目尾上として中老に取り立てられることとなるのです。

◆配役

口上	伊勢山 未来 (中学 年生)	大姫	小林 梨香子 (小学 四年生)
岩藤	寺戸 莉奈 (中学 年生)	小枝	松原 英里可 (小学 四年生)
劍澤弾正	山口 礼葉 (小学 五年生)	奴伊達平	石原 那奈 (小学 五年生)
牛嶋主税	小林 菜見子 (小学 六年生)	尾上	石原 美優 (中学 年生)
庵澤求女	小林 美輪子 (中学 年生)	お初	林 真白 (中学 年生)

イヤホン同時解説

安田 文吉氏



日本近世文学、近世芸能文化研究者。南山大学名誉教授。東海学園大学客員教授。日本歌謡学会常任理事。東海近世文学会代表。名古屋芸能文化会代表。名古屋三曲連盟理事。令和元年度名古屋市芸術特賞受賞。著書に『常磐津節の基礎的研究』(和泉書院、九九二年、東洋音楽学会田辺尚雄賞受賞)、安田徳子氏との共著に『歌舞伎入門』(おうふう、九九五年)、『ひだみの地芝居の魅力』(岐阜新聞社、二〇〇九年)などがある。

振付指導

市川 寿々女

太夫

市川 美満寿

三味線

松井 巳空 (高校 三年生)

附打

鶴澤 弥吉

黒子

渡辺 律二

化粧・着付

伊勢山 未来

衣裳

寺戸 莉奈

化粧・着付

中田 幸子

衣裳

小野 恵理子

衣裳

井料田 寿子

衣裳

内山 由紀江

衣裳

川上 章

衣裳

川上 貸衣裳

鏡山旧錦絵

※は登場しない人物

